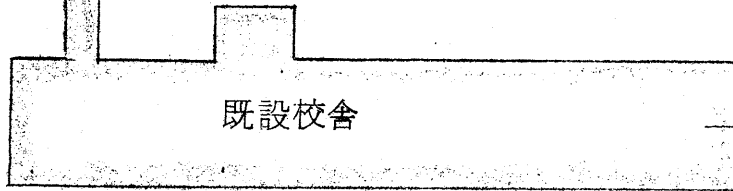
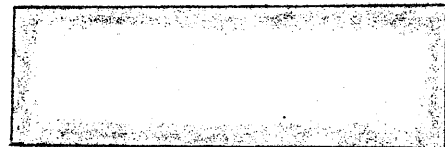


城山中学校新築工事地質調査位置図  $S = 1/600$

◎ ボーリング地点



既設校舎

No. 1

No. 2

No. 3



9.0

18m

22.5m

N

# ボーリング柱状図

調査名 宇都宮市立城山中学校地質調査 孔番 No. NO.1 地盤高 \_\_\_\_\_ m  
 調査場所 宇都宮市大谷1, 423 (基準面 \_\_\_\_\_ )  
 地 形 \_\_\_\_\_ 摘 要 \_\_\_\_\_  
 調査期間 昭和51年 5月 日 ~ 月 日  
 地下(孔内)水位 -1.10 m 調査担当者 \_\_\_\_\_

標地下水位 高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 置 試験深度 (m)	標準貫入試験							
					色	相対 稠度		番号	記号		採取深度 (m)	試験深度 (m)	打 撃 回 数					
											0	10	20	30	40	50	60	70
	0.30	0.30		表 土	黒灰		10cm盛土											
▽				ローム	茶褐色		有機物混る。	1	1	1.10, 1.10	1.15	3						
	2.00	1.70		砂質粘土	茶灰		腐植物混る。	2	1	1.10, 1.10	2.15	2						
	2.60	0.60						3	3	3.3, 3.3	3.15	9						
							上部3.80m迄 砂多く礫混入少 ない。	4	4	7.17, 2.6	4.15	22						
					青緑灰色		4m附近φ150 %位の玉石あり	5	5	8.9, 1.2	5.15	29						
								6	6	5.0	6.15	50						
								7	7	17.20, 1.3	7.15	51						
							7.30m附近より 礫混入多く φ=80%-100 %位の礫混入 多い。	8	8	反 答	8.15							
								9	9	32, 1.8	9.15	50						
							砂 礫	10	10		10.15	50						

# ボーリング柱状図

調査名 宇都宮市立城山中学校地質調査 孔番 No. No. 2 地盤高 \_\_\_\_\_ m  
 調査場所 宇都宮市大谷1, 423 (基準面 \_\_\_\_\_)  
 地 形 \_\_\_\_\_ 摘要 \_\_\_\_\_  
 調査期間 昭和51年 5月 日 ~ 月 日  
 地下(孔内)水位 -1.80m 調査担当者 \_\_\_\_\_

標地下水位 高位(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打 撃 回 数							
					色調	相対稠度		番号	記号		採取深度 (m)	0	10	20	30	40	50	60
	0.50	0.50	△	表土	黒灰		腐植物混る。 盛土1cm以下 有機物混る。下部粘土質。			1.15 1.45	3							
	1.60	1.10	□	ローム砂質土	茶褐			2	1.1.1	2.95 2.65	29							
	2.50	0.90	■	粘 土	茶灰			2	4.12.13	3.15 3.45	4							
	2.80	0.30	■	砂 礫	茶灰		小礫混入多い。	3	2.1.1	4.15 4.45	20							
	3.70	0.90	■	砂質粘土	青灰		小礫混る。	3	2.1.1	5.15 5.45	32							
							全体的に凝灰質 礫径φ=20% ~60%位多い。	4	4.8.8	3.8.19 4.15 4.45	30							
						暗緑青灰色	6. 60m附近砂 質粘土挟む。	5	8.10.14	7.15 7.26	11							
							8m附近よりφ =80%~100% 内外の礫混入 多い。	7	30.20	8.15 8.30	15							
								8	25.25	9.15 9.43	28							
								9	17.19.24	10.15 10.33	8							
	9.90 10.23	6.20	■	砂 礫				9	17.19.24	10.15 10.33	28							
				岩 盤	緑灰			10	50	10.15 10.33	8							

# ボーリング柱状図

調査名 宇都宮市立城山小学校地質調査 孔番 No. NQ3 地盤高 \_\_\_\_\_ m

調査場所 宇都宮市大谷1, 423 (基準面 \_\_\_\_\_ )

地 形 \_\_\_\_\_ 摘 要 \_\_\_\_\_

調査期間 昭和51年5月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 -1.35 m

調査担当者 \_\_\_\_\_

標地下水位 高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料			標準貫入試験							
					色 調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原 位 試験深度 (m)	打 撃 回 数						
											0	10	20	30	40	50	60	70
0	0.50	0.50	X	盛土														
1	1.35	0.85	X	表土	黒灰		腐植物混る。	3	1	1.10	1.15 1.45	1						
2	2.60	1.25	/	ローム	茶褐色		有機物混る。 下部で徒がい 粘土質となる。		2	1.15	2.15 2.47	2						
3			.				砂質粘土の挟 在あり。		3	2.57	3.15 3.45	19						
4			.						4	6.10.10	4.15 4.45	26						
5			.		青緑灰色				5	7.5.22	5.15 5.45	30						
6			.				6.70m附近よ り礫混入多くな る。		6	2 4. 6.	6.15 6.45	12						
7			.						7	9.16.20	7.15 7.45	44						
8			.						8		8.15 8.45	56						
9			.						9	19.28.51	9.15 9.36	50						
10	10.10	7.50	.	砂 礫					10		10.15 10.45	50						
11	11.00		/	岩 盤			凝灰岩											